言語聴覚学科専門

授業科目　摂食・嚥下障害学演習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	言語
今井　信行、西尾　正輝	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

摂食・嚥下障害の検査・評価・診断・治療・訓練方法について、実技演習を通して修得する。

【学習目標】

摂食・嚥下障害学で学んだ基礎知識を、臨床の場で応用できるように実習を行う。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	咀嚼運動、嚥下運動の協調運動		演習
2	摂食・嚥下障害の検査・評価１.（スクリーニング検査）		演習
3	摂食・嚥下障害の検査・評価２.		演習
4	摂食・嚥下障害の検査・評価３.		演習
5	摂食・嚥下障害の検査・評価４.（頚部聴診法）		演習
6	口腔ケア・排出訓練		演習
7	摂食・嚥下障害のリハビリテーション（間接訓練・直接訓練）概論		演習
8	先行期障害のリハビリテーション		演習
9	準備期障害のリハビリテーション		演習
10	口腔期障害のリハビリテーション		演習
11	咽頭期障害のリハビリテーション		演習
12	食道期障害のリハビリテーション		演習
13	摂食・嚥下障害のリハビリテーション総括		演習
14	吸引法		演習
15	まとめ		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	動画でわかる摂食・嚥下障害患者のリスクマネジメント	藤島一郎、柴本　勇	中山書店	2012・3,800 円＋税
参考書	脳卒中患者の口腔ケア	植田耕一郎	医歯薬出版	1999・4,700 円＋税
その他の資料				

【評価方法】

出席状況、レポート、定期試験

【履修上の留意点】